

三郷市文化財サポーター会報

きざし

時の階

平成30年春号
(第6号)

平成30年3月30日発行
三郷市文化財サポーター代表
発行：記録広報部会
事務局：生涯学習課
048-930-7759

三郷市立郷土資料館

常設展示大幅リニューアルしました

昨年度の特別展に合わせ、三郷市

立郷土資料館では展示ケースをリニ

ューアルしました。

それに合わせ常設展示も大幅にグ

レードアップしています。



新しい展示ケース内には市内の皆さんからご寄贈を頂いたものを中心に戦前から昭和の時代に使われた懐かしい道具を展示しています。

新しい展示ケース内には市内の皆

さんからご寄贈を頂いたものを中心

農機具も三郷の歴史を語る大切な文化財です。

わたしたち文化財サポーターも展示替えに協力しています。特別展のないときにも、懐かしい三郷に会いにぜひお立ち寄りください。

新展示ケースの設置に伴い、それまで展示されていた農機具は展示室の奥に移動されました。



展示解説

リニューアル

資料館の常設の展示についても随時見直しが行われています。

今年度は「はかる道具」と「古いお金」の展示解説がリニューアルされました。どちらも開館以来の本館の「顔」ですが、よりわかりやすくなりました。特にお金の展示は文化財サポーターの菅原さんが継続的に調査されています。



特集

三郷市文化財サポーター 歴史散策及び懇親会

第二回 戸定が丘歴史公園と 松戸宿めぐり

4月18日に昨年度に続き、第二回となる文化財サポーターの歴史散策と懇親会が行われました。

今回の参加者は11名で、お隣千葉県松戸市にある「戸定が丘歴史公園」並びにかつての水戸街道松戸宿だった、現在の松戸駅周辺にのこる史跡を散策しました。

朝までは雨が降っていたのですが、集合時には天気も回復し、快晴の中、楽しい交流会となりました。

「戸定が丘歴史公園」は最後の将軍徳川慶喜よしのぶの弟で、水戸藩王であった徳川昭武あきたけが明治17年に隠居後

の別邸としたところです。

現在も残る邸宅は明治期の旧大名屋敷として貴重なもので平成18年に国の重要文化財に指定されています。また和洋折衷の庭園は国の名勝に指定されています。公園内には歴史館もあり、戸定邸にかかわる徳川家の歴史を学べます。

午前中に「戸定が丘歴史公園」を

見学したのち、午後は松戸宿の名残を訪ねて、松戸駅周辺の史跡をめぐりました。

現在も残る古い建物を利用した観光案内所、松戸探検隊ひみつ堂をスタートに松戸の総鎮守、松戸神社やかつては千葉周作の剣の師匠、浅利又七郎の道場があり、千葉周作も剣の稽古に励んでいた宝光院、松戸の渡し場跡などを見学しました。

第三回 草加松原めぐり

7月18日には文化財サポーターの歴史散策と懇親会の第三回が行われました。

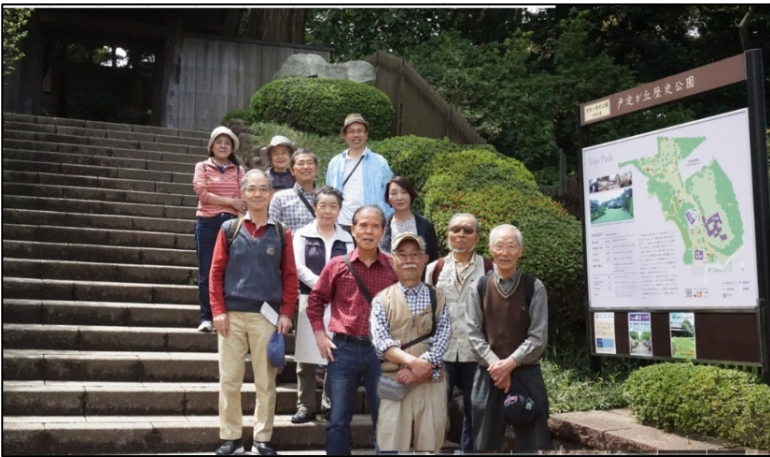
今回は祝日と重なったため、参加人数は最多の14名となりました。今回の歴史散策は旧日光道中の草加宿です。

前日までの荒天がうって変わって、炎天下の中での歴史散策となりました。最初に草加市立歴史民俗資料館

を訪ねました。

ここは大正15年に建てられた埼玉県の鉄筋コンクリート製の校舍だった草加小学校の旧西校舎を利用した資料館です。ここでは職員の方から、展示物や日光街道草加宿の成り立ちについて、丁寧な説明をうかがうことができました。

次に草加宿の祖と言われる大川ずしよ 図書にゆかりの深い東福寺を訪問、



図書の墓や草加市の文化財にも指定
 されている本堂内陣の見事な欄間
 彫刻や山門、鐘楼などを見学
 しました。

その後、旧街道にのこる古民家を
 利用した休憩所、神明庵で涼をと
 り、草加松原へ。



望楼や赤レンガ造りの甚左
 衛門堰、正岡子規の歌碑などを見学

しながら松並木をそぞろ歩き。
 松並木の一番北まで行ったところ
 で資料館の職員の方に伺った、今は
 埋め立てられてしまった橋の欄干
 の遺構を発見して一同大喜び。
 暑い中での大変な散策でしたが、
 楽しい交流会でした



常設展示より

香時計



そこでお香の一定の時間で燃える
 性質を利用して時計としたのが香時
 計です。

香時計は内部の香炉に木型で迷路
 のような回路がつくることができ、
 そこに带状にお香を敷き詰め、その
 お香の煙の出て来る位置で、時間を
 はかるようになっていました。

本館に展示されている香時計も、
 外観からはわかりませんが、内部に
 左の写真のように回路が彫られてい
 ます。

珍しいこの香時計ぜひ資料館でご
 覧ください。



常設展示の中から、興味深いもの
 をご紹介いたします。
 まず第一は、展示品の中でも特に
 存在感のある。香時計です。
 最近では普通の家庭では日常的に
 香を焚くことはなくなってしまいま
 したが、以前は寺院や家庭などで香
 を焚く機会がありました。
 香は燃える時間が比較的一定して
 おり、例えば、座禅では線香一本の
 燃える時間、およそ40分を一回の座
 禅の時間としています。

古文書調査&

講堂記念館整理

三郷市では昨年度から今年度にかけてたくさんさんの資料や古文書をいただきました。

今年度、文化財サポーターでは資料館の職員の皆さんや市史研究専門委員の中野達哉先生のご指導を仰ぎながら、彦成の講堂記念館で管理している資料やたくさんさんの古文書の分類・整理を継続して行ってまいりました。

古文書については江戸末期から戦前にかけての書籍や土地に関する資料が多くありました。そのほかにも『論語』のような中国の古典もたくさんあり、三郷に住んだ先人の勉強熱心さに大変感心させられました。頂いた資料には食器などの什器類も多く、おそらくは正月などに使われたと思われる塗り物のセットもた

くさんありました。面白いのはその包み紙で、昭和初期の新聞など、それ自体が歴史を物語るものが用いられていました。



これらの資料の多くは彦成の講堂記念館にて管理保存されているため、今年度の夏から秋にかけては資料の整理に合わせて、講堂記念館の整理も行いました。

講堂記念館は長く彦成小学校の講堂だったこともあり、明治初期に市

内で初めて教員となられた堀切貞太郎氏をはじめ、市内の教育の歴史についての資料が展示されています。

今年度の私たち文化財サポーターの活動の成果もあり、見やすく整理されました。



講堂そのものも大正時代に建てられた貴重な文化財で、市の指定文化財にもなっています。

懐かしい雰囲気味わいにぜひ立ち寄ってみてください。

編集後記

広報誌第6号がようやく発行できました。

今年度については編集担当者もなかなか活動に参加できず、今年度を振り返るような形になってしまいました。

文化財サポーターの活動は、継続的に行われている文書の整理や勉強会などのように、地元三郷の歴史を丁寧に見つめ直す、「地に足の着いた」活動が主体になっています。

派手さはないかもしれませんが、自分たちの地元で眠る歴史を振り返るとても貴重な活動です。

